

【審査基準】

審査項目		配点
デザイン コンセプト	制服作成のコンセプトが、新制服制定の趣旨や本項の校訓、教育目標に沿うものであるか。	20
	制服としての清楚感、清潔感、上品感があり、式典等の服装として対応できるものであるか。	
	デザインの変更により、生徒や保護者等にとって好感度が増しているものであるか。	
	他校の制服とイメージが重ならず、本校の制服であると識別しやすいものであるか。	
機能性	着用感がよいか。	35
	活動や着脱がしやすいものであるか。	
	保温性、通気性等、学校生活を快適に過ごせる仕様になっているか。	
	素材や縫製技術面で3年間着用できる耐久性を有するものであるか。	
	着崩れや型崩れがおきにくいものか。	
	自宅での洗濯が可能であるなど、手入れがしやすいものであるか。	
抗菌防臭、撥水などの加工がなされているか。		
経済性	社会通念上許容できる範囲での価格設定になっているか。	10
	近隣校との比較において平均的な金額以内であるか。	
利便性	新入生の採寸や注文受け付けについて、学校の指定する日時や方法に対応できるか。	15
	販売店の所在地、店舗数等、購入に際しての利便性が確保されているか。	
	修繕が生じた場合等のアフターサービスの体制がとられているか。	
協力関係 安定性	限られた期間内に制服を供給する能力・体制を有しているか。	20
	契約期間中、制服の供給を継続できる安定した経営的基盤を有しているか。	
	本校からの要請や要望に速やかに対応できる組織体制を有しているか。制服決定後のPR活動に協力できるか。	
	制服の販売に関して、販売店と学校の連携に協力が可能であるか。	
合計		100